

## 第8回 開発霞ワークショップ

日時・場所

平成30年9月3日（月）14:00～16:00

東温市役所403会議室

### 第8回ワークショップにおける確認事項

第8回ワークショップでは、現地において工事等の進捗状況を確認するとともに、その状況を踏まえてファシリテーターの二神先生と事務局の方から、①第7回ワークショップでの主要な意見の確認、②モニタリング調査結果、③上流泉の設計見直しについて説明がありました。



### 現地確認状況

現地では、工事の進捗状況を確認しました。また、上流泉周辺の設計見直しに係わる現況既存樹木の位置等を確認しました。



### 主要な意見

現地調査の結果を踏まえ、意見交換を行いました。ワークショップ委員からは、以下のような意見をいただきました。

#### ◇上流泉の設計見直しについて

- 魚付き林は、水温上昇を抑える効果もあり、上流泉周辺に樹木があることは有効であると考えられる。
- 水際は、水生生物が生息しやすいように緩傾斜とすることを考えているが、魚礁としての機能も期待できることから、石積みの箇所があっても良いと思われる。
- 一方、緩やかな水際は水草の生育や魚の隠れ家として機能し、多様性が維持されることから緩傾斜も重要であると思われる。
- 設計の見直しについては、学識者等に意見をいただきつつ検討するという事で、事務局に一任する。

#### ◇じゃぶじゃぶ池について

- 子供が楽しむ池として、一部の水際は玉砂利を敷くなど植生が生えないようなことも考えてはどうか。